

発行

(公財) 暴力団壊滅秋田県民会議

(秋田県暴力追放運動推進センター)

〒 010-0951 秋田市山王四丁目1-5

☎ 018-824-8989 FAX 018-824-8990

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族とともに希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。平素より公益財団法人暴力団壊滅秋田県民会議の活動に格別のご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げますとともに、賛助会員、協賛企業の皆様には、厳しい経済情勢の中、温かいご支援を賜り、重ねて御礼を申し上げます。引き続き県民の皆様方と力を合わせて「暴力団のいない安全で明るく住みよい秋田県」の実現を目指して、対決姿勢を堅持するなど強力な取り組みを推進して参ります。

不当要求防止、暴力団排除のための事業推進中です!

◎暴力団情勢～警察庁 組織犯罪対策課 発表等

暴力団排除の推進

※前回259号からの続きになります。

6 都道府県センターの活動状況

(4) 暴力団員の離脱促進、社会復帰の状況

【事例】暴力団からの離脱者に対する就労支援(令和5年7月)

暴力団を離脱し社会復帰を望む相談を受けていた暴力団組員から、別の組織に所属する暴力団組員も離脱を希望している旨の情報を得て、同人らに対する離脱支援及び就労支援を実施したとこ

ろ、いずれも、所属する組織から離脱し、令和5年7月、警察、都道府県センター、関係機関・団体等から構成される社会復帰対策協議会を通じて協賛企業に就労しています。

※組織犯罪掲示板

★ 特殊詐欺～特殊詐欺犯罪の特徴と手口の傾向

【事例】フィリピンに拠点を置いた特殊詐欺事件(令和5年2月、警視庁)

日本人の男らが、金融庁職員や警察官等になりすまし、口座が不正に残高照会されているのでキャッシュカードを封筒に入れて保管する必要がある旨の嘘を言い、キャッシュカードを窃取するなどした事案。警視庁では、日本人の男らがフィリピン国内を拠点として特殊詐欺を敢行しているとの情報を入手して現地当局に情報提供したところ、現地当局が拠点を摘発して、順次首謀者や指示役ら4人

を含む日本人犯行グループを拘束し、同犯行グループの日本への退去強制が進む中、首謀者ら4人を令和5年2月までに、窃盗罪で逮捕した。

【特徴】最近では、海外在住の指示役からの指示に基づき、本邦在留の実行役等が犯行に及ぶなどの国境を越えた組織的な犯行が増加し、加えて、秘匿性の高いSNSを利用した役割の細分化や、SNS上で面識のない外国人同士が知り合って犯罪を敢行する組織の匿名化といった傾向が見られる。

【事例】ベトナム人による組織的な口座売買事件

ベトナム人の男が海外に滞在するベトナム人の指示により、SNS上で通帳やキャッシュカードの売買を募集し、郵送された通帳等を買って受けた上、日本人の特殊詐欺組織に対し通帳等を売却していた。

売却された口座は、特殊詐欺組織が詐欺金振込先口座に使用していたとみられる。近年、ベトナム人によるSNSを通じた口座売買が多発傾向にあり、売買された口座等は、特殊詐欺を始めとした様々な犯罪で悪用されている。**※悪質な特殊詐欺、投資詐欺、ロマンス詐欺が横行しています。一度も会っていない人の言いなりで、お金の出し入れは危険です。大事な財産を詐欺されないように要注意です。**